

我身人皆忌憚久之，江定白鳥莫相猜。

去第愛印遷居，地下。爾其應接日多，不堪。

吳頌乃將辭去，弄別語。

唯之而後，水已深，乃衣轉，竟塵埃，復復中。

日山川色，蕙恨於麻，樓於。世治，無端。

樓刺，生海寧，復同。送金，揚與。元氣，殊在。

多，好去，行歌，楚水，玲。

古歌

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

去年の第百廿七の巻に  
何れも、  
今人の好むもの、  
~~~~~

年々、
~~~~~

解、  
~~~~~

~~~~~

~~~~~

願肖像 待来不備

有志、
~~~~~  
月、

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~







業(Shiksha)の目的は、知識の獲得、技能の訓練、  
徳性の涵養、社会生活の準備に在り。この四者を  
兼ねて修むべきを教育の目的とす。教育の  
対象は、人である。人は、動物の中でも最も  
高度な動物である。人之所以能教育を受け、  
教育を施す者である。教育を受ける者は、  
未成熟の動物である。未成熟の動物は、  
自らの力で生活することはできない。故に  
教育を受ける必要があるのである。教育は、  
人生の幸福を成すための必要なものである。  
教育の重要性は、古今東西を通じて変わら  
ない。教育は、文明の基盤である。教育が  
なければ、社会は成り立たない。教育が  
なければ、人は動物と変わらない。教育は、  
人間性を育てるものである。教育は、心  
を鍛えるものである。教育は、知識を授ける  
ものである。教育は、技能を教えるものである。  
教育は、徳性を養うものである。教育は、  
社会生活の準備をさせるものである。教育は、  
人生の幸福を成すための必要なものである。  
教育の重要性は、古今東西を通じて変わら  
ない。教育は、文明の基盤である。教育が  
なければ、社会は成り立たない。教育が  
なければ、人は動物と変わらない。教育は、  
人間性を育てるものである。教育は、心  
を鍛えるものである。教育は、知識を授ける  
ものである。教育は、技能を教えるものである。  
教育は、徳性を養うものである。教育は、  
社会生活の準備をさせるものである。教育は、  
人生の幸福を成すための必要なものである。

是(Shiksha)の目的は、知識の獲得、技能の訓練、  
徳性の涵養、社会生活の準備に在り。この四者を  
兼ねて修むべきを教育の目的とす。教育の  
対象は、人である。人は、動物の中でも最も  
高度な動物である。人之所以能教育を受け、  
教育を施す者である。教育を受ける者は、  
未成熟の動物である。未成熟の動物は、  
自らの力で生活することはできない。故に  
教育を受ける必要があるのである。教育は、  
人生の幸福を成すための必要なものである。  
教育の重要性は、古今東西を通じて変わら  
ない。教育は、文明の基盤である。教育が  
なければ、社会は成り立たない。教育が  
なければ、人は動物と変わらない。教育は、  
人間性を育てるものである。教育は、心  
を鍛えるものである。教育は、知識を授ける  
ものである。教育は、技能を教えるものである。  
教育は、徳性を養うものである。教育は、  
社会生活の準備をさせるものである。教育は、  
人生の幸福を成すための必要なものである。

利らるの媒... 作... 張... 遠... 二十... 校... 備... 真... 井...

不... 著... 小...

高橋國南

高橋國南... 著...



作ね小娘子とていふとまじりていふ  
靈元法皇御きり神智

いふくもくはさるる事ありまほしき事あり  
又

甲沸のこころの事 昔の事いふ事いふ事  
いふ事いふ事いふ事いふ事

いふ事いふ事いふ事いふ事  
いふ事いふ事いふ事いふ事

いふ事いふ事いふ事いふ事  
いふ事いふ事いふ事いふ事

いふ事いふ事いふ事いふ事  
いふ事いふ事いふ事いふ事

いふ事いふ事いふ事いふ事  
いふ事いふ事いふ事いふ事

いふ事いふ事いふ事いふ事  
いふ事いふ事いふ事いふ事

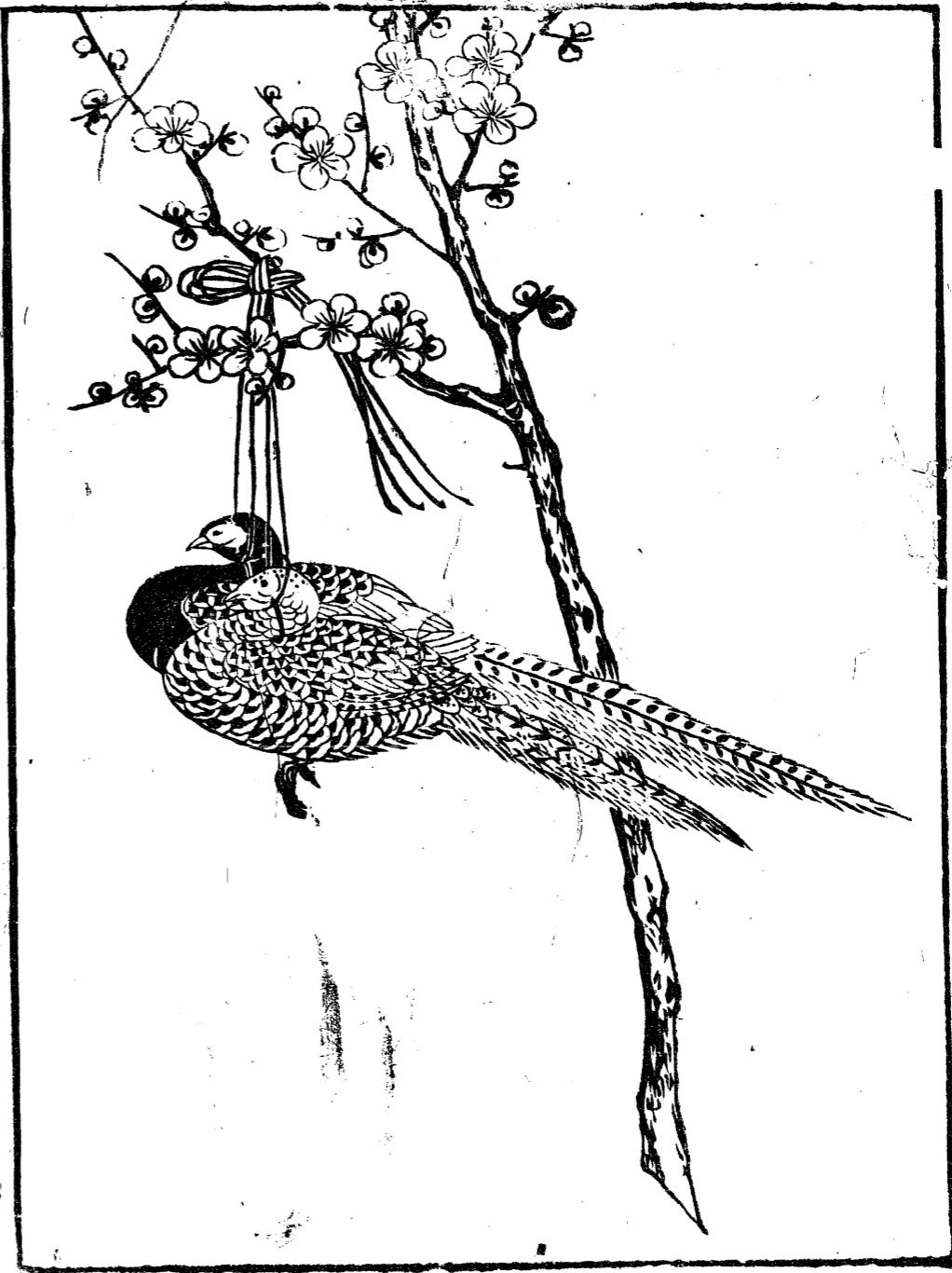
いふ事いふ事いふ事いふ事  
いふ事いふ事いふ事いふ事

いふ事いふ事いふ事いふ事  
いふ事いふ事いふ事いふ事

いふ事いふ事いふ事いふ事  
いふ事いふ事いふ事いふ事

いふ事いふ事いふ事いふ事  
いふ事いふ事いふ事いふ事

いふ事いふ事いふ事いふ事  
いふ事いふ事いふ事いふ事



野田社庵

秋は白木村の道河原の海へ遠くへ  
車に懸けぬの道はさきへ  
牙も細く伝ふる活多し  
物中の水と海とを  
所へ今もを結可し  
鳥鳥の道はさきへ  
平らなるくまの道  
ふし葉の竹の道  
さへ厨下へさきへ  
さきへさきへさきへ